



企業レポート

リョービ株式会社

河本 央*

会社概要

名称 リョービ株式会社
 設立 昭和18年12月
 資本金 18,348百万円(1990年3月現在)
 代表者 取締役社長 浦上 浩
 社員 2,300名
 売上高 1,213億円(1990年3月期)
 所在地

東京本社 東京都千代田区外神田3-15-1
 本社 広島県府中市目崎町762
 大阪支店 大阪府高槻市今城町24番12号
 営業所 札幌, 仙台, 静岡, 浜松, 名古屋
 富山, 岡山, 広島, 高松, 福岡
 工場 広島, 静岡 他

主な製品

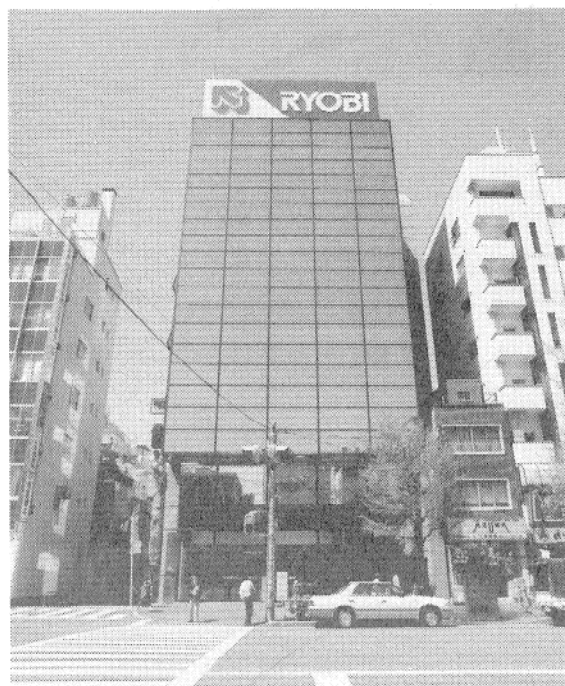
ダイカスト製品
 印刷機器 (オフセット印刷機, 写真植字機
 など)
 電動工具, エンジンツールなど
 建築用品 (ドアクローザなど)
 釣具 (リール・竿など)
 スポーツ用品 (ゴルフ用品など)

関係会社

国内 18社
 海外 24社 (1990年5月現在)

沿革

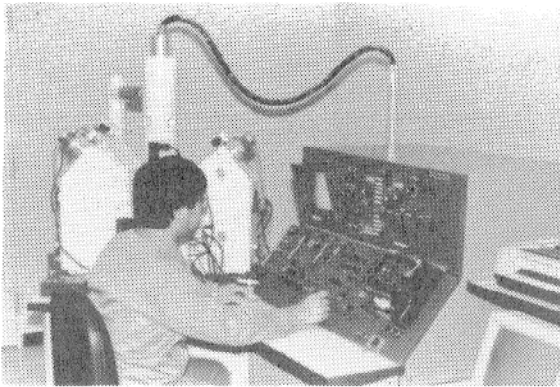
1943 株式会社菱備製作所設立
 1944 ダイカスト製品の製造を開始
 1954 プラスチック製品の製造を開始
 1960 広島証券取引所に上場



東京本社

1961 東京, 大阪証券取引所に上場
 オフセット印刷機の製造を開始
 1962 静岡工場の操業を開始
 1963 ドアクローザの製造を開始
 1966 釣具の製造を開始
 1968 電動工具の製造を開始
 1973 リョービ株式会社に社名変更
 1974 リョービアメリカCORP.を設立
 1975 新しいシンボルマークとロゴタイプを制定
 1980 東京に新社屋を建設し, 本社, 東京本社
 の2本社制を敷く
 1985 シェラー・リョービCORP.(現リョー
 ビダイキャストینگ(USA), INC.)を設立
 1986 東京本社別館を建設
 開発研究所を開設

*河本 央(Hiroshi KOHMOTO), リョービ(株), 取締役
 研究部長兼特許部長, 理学博士



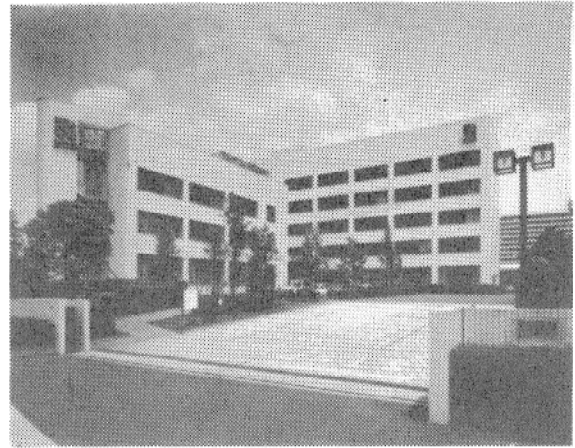
開発研究所E PMA

- 1987 リョービエレクトリックツールマニュファクチャリングINC.を設立
株式公開買付けによりイナーシャダイナミクスCORP.の株式取得
- 1988 リョービモータープロダクツCORP.を設立
リョービノースアメリカINC.を設立
- 1989 リョービヨーロッパS. A.を設立
株式会社東京軽合金製作所に資本参加
- 1990 リョービアルミニウムキャスティング(UK), LTD.を設立

研究開発

リョービの研究開発は、研究部と製品分野別の各部門で行っています。現在、研究部は3つの課で構成されていて、1課（広島）ではダイカストの生産技術に関連する基礎技術、2課（東京）では電動工具など完成商品のメカトロニクス化、3課（東京）ではダイカストのベーシックな研究を中心に新素材の研究、4課（東京）は完成商品の企画開発をそれぞれ行っています、1課は、本社に、2課、3課、4課は開発研究所にあります。各部門での研究開発は2～3年先のことを考え、研究部での研究開発は各部門と連携して5～10年先のことを考えて行っています。

最近の研究成果を紹介しますと、ダイカスト用の崩壊性中子の開発があります。この中子はダイカストの際、その形状を保ったまま強度が低下し、熱を加えることなく崩壊しますので、従来はできなかったアンダーカットのある中空



東京本社別館・開発研究所

形状を有する製品が得られます。今ではこの技術によってアルミ製ゴルフヘッドや自動車用のシリンダーブロックなどを製造しています。

今後は自動車関連でダイカストによるアルミ化が急速に進むでしょうから、その面でますます研究投資をしていかなければならないと考えています。

また、完成商品の開発成果をあげてみますとまず、印刷機器では、高速度化、多色化を実現した印刷機、そして、光学システムを利用した文字板を全く使わないCD-ROMによる電算写植システムがあります。

次に、電動工具では、整流子モーターをインバーター駆動による高周波誘導電動機に変えて機械から発生する音の低減化に成功しました。

さらに建築用品では、耐摩耗性合金を使った高性能なドアクローザの開発があります。これは何十万回開閉しても摩耗しない新材料（R14）を使ったダイカスト製品です。その他、釣具では、電動リールの開発などがあります。

今後さらに、各部門の開発に携っているスタッフと密接な連絡をとりつつ研究開発体制の充実に注力していくつもりです。